

科目名	専門分野			ディプロマ・ポリシー(DP)	DP3 DP4		
	基礎看護学			担当教員	外部講師 専任教員		
	診療の補助技術						
履修学年	2年	履修学期	前期	単位数	1	時間数	30
授業目標	1. 患者の「息をすること」を助けるために、安全で苦痛を最小限にする技術がわかる 2. 状況に応じた救命処置技術を理解する 3. 検査・治療・処置による生体反応や身体・心理面への影響を理解できる 4. 診療・処置・前・中・後の対象の安全や安心につながる援助ができる 5. 診療・処置・検査における看護の意義がわかる						
回	学習内容				方法	担当教員	
1 2	1) 呼吸を整える技術 (1) 酸素吸入療法（酸素マスク、人工呼吸器、NPPV） (2) 吸入・吸引（気管、鼻腔、口腔）／体位ドレナージ (3) 看護技術の実践：体位ドレナージ／吸引（鼻腔、口腔、気管）				講義 演習	専任教員	
3	2) 救命救急処置技術（小児・成人） 心肺蘇生法の基礎知識（一時救命処置技術、AED）／止血法				講義 演習		
4	3) 輸血管理技術：輸血による生体反応を理解した看護を考える				講義		
5 6 7 8	4) パフォーマンス課題の導入 (1) 対象に応じた検査・治療・処置に伴う技術 ① [小児] ・検査・治療・処置が小児の身体・心理面へ与える影響 ・小児の発達段階に応じた、イフォームドアセント、 ブレパレーション、ディストラクションの活用方法 ② [高齢者] ・検査・治療・処置の身体・心理・社会的側面への影響 ・高齢者への説明技術				講義 演習		
9 10	5) 放射線治療を受ける患者の援助技術 IVRの治療を受ける患者の援助技術：血管IVR、非血管IVR				講義	外部講師	
11 12	6) 検査・治療・処置時の看護 ※根拠と留意点を抑える (1) 検体検査（動脈血採血、簡易血糖検査、喀痰検査） (2) 生体検査（骨髄穿刺、心カテ（PCI）、MRI、 上部消化管内視鏡検査、気管支鏡検査） (3) 輸液管理（ヘパリンブロック）				講義	専任教員	
13	(4) 看護技術の実践：成人への簡易血糖検査の実施／小児の腰椎 穿刺時体位保持（器具の感染防止取扱い・無菌操作含む）				演習		
14 15	パフォーマンス課題 まとめ・発表 「対象に応じた安全で安楽な検査・処置時の看護を表現する」 7) 診療・処置・検査における看護の意義がわかる				演習		
評価規準 評価方法	パフォーマンス評価・筆記試験 100点						
テキストおよび 参考文献	専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅱ（医学書院） 看護に生かす検査マニュアル（サイオ出版）						
履修上の注 意点							